

【資産の現状確認】

✓	項目	メモ
	財産の大部分が「不動産」と「自社株」で、すぐに動かせる「現金」が少ない。	
	相続税の支払いが必要そうだが、納税のための具体的な資金準備ができていない。	
	家族に分け与えるための「現金の予備」が、今のままだと不足している。	

「分けにくい財産」が多い場合、将来のトラブルを招きやすくなります。今のうちから現金の出口戦略を立てておくことが、資産を守る第一歩です。

【家族の状況確認】

✓	項目	メモ
	長男の妻など、相続人ではない親族に長年「介護の負担」をかけている。	
	特定の子供に家を継がせたいが、他の兄弟に渡す財産とのバランスが取れていない。	
	家族の中に、将来の遺産分割で「自分の権利」を強く主張しそうな人がいる。	

家族への感謝や配慮を「形」にしておくことは、相続後の人間関係を守ることに直結します。想いを伝えるための具体的な手段を検討しましょう。

【契約の不備確認】

✓	項目	メモ
	加入している生命保険の「受取人」が、すでに亡くなった方の名前や古い情報のままである。	
	「500万円 × 法定相続人の数」という生命保険の非課税枠を、まだ使い切っていない。	
	保険の契約者と受取人の組み合わせが、自分の希望する「税金の種類」と合致しているか分からない。	

手続きの不備は、いざという時に大きな「損」や「遅れ」を招きます。最新の状況に合わせて契約内容を見直すだけで、大きな安心を得られます。